ハンドマイク街頭演説原稿例　寺田総務相更迭・岸田内閣退陣を

二〇二二年十一月二十二日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　政治とカネの疑惑を追及されていた寺田稔総務大臣が十一月二十日に辞任しました。ほとんどのマスコミが、事実上の更迭だと報道しています。しかも山際・前経済再生担当大臣、葉梨・前法務大臣に今回の寺田総務大臣と、この一カ月で３人もの大臣が辞任や更迭に追い込まれており、岸田首相の任命責任が厳しく問われます。

　寺田氏をめぐる疑惑については十月に週刊誌が報じて以降、次々と新たな問題が発覚し、昨年の総選挙での運動員買収などの公職選挙法違反の疑いまで浮上しました。国会での野党の追及に寺田氏は、一部については不適切と認めながらも、違法性はないと開き直る答弁を繰り返しました。総務大臣は、選挙や政治資金を担当する大臣です。寺田氏のこのような態度は、総務大臣としての適格性を欠くものだと言わざるを得ません。

　これだけ追及されても総務大臣の職にしがみつく寺田氏に国民の不信感は高まり、岸田首相もついに事実上更迭せざるを得なくなりました。あまりに遅すぎる辞任ですが、寺田氏は自らの「政治とカネ」疑惑を全て国民の前に明らかにする責任があります。日本共産党は引き続きこの問題に取り組んでまいります。

　ところでみなさん、寺田氏は岸田首相と同じ自民党派閥に属し、総務大臣に就任する前は岸田内閣の首相補佐官を務めてきた人物です。疑惑が報じられてから一カ月以上も寺田氏をかばい、続投させた岸田首相の姿勢には、自民党内からも疑問の声が相次いでいました。死刑問題をめぐり暴言をした葉梨・前法務大臣を辞めさせる際の岸田首相の判断も遅く、そのことが国民の批判を大きくしました。統一協会との密接な関係で閣僚を辞任した山際氏にいたっては、直後に自民党のコロナ対策の本部長に就きました。なぜ国民の批判の声が高まり、辞任や更迭になったのか、岸田首相にも自民党にも根本的な反省がないとしか言えません。

　寺田氏の後任である松本・新総務大臣については、「しんぶん赤旗」が政治資金規正法違反の疑惑を報じています。そのほかにも、閣僚の資格が問われている大臣が残っている状態です。大問題となった統一協会と自民党との癒着についても、岸田首相は徹底的な調査に背を向けています。これでは国民の信頼を得ることはできないのではないでしょうか。

　その岸田政権は、急激な物価高騰に有効な手を打てず、国民に生活苦を強いる一方、大規模な軍備拡張と憲法改定を推し進めて国民生活を押しつぶそうとしています。民意に逆らう暴走を続ける岸田自公政権を一日も早く終わらせ、新しい政治に切り替えるため、日本共産党は全力でがんばる決意です。

　この機会に日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）